お元気ですか
つかじさちのフレッシュ便
第1061号
日本共産党高知県議会活動報告ニュース
2023年 2月12日発行
電話 088−823−9524（議会控室）
088−843−9281（自 宅）

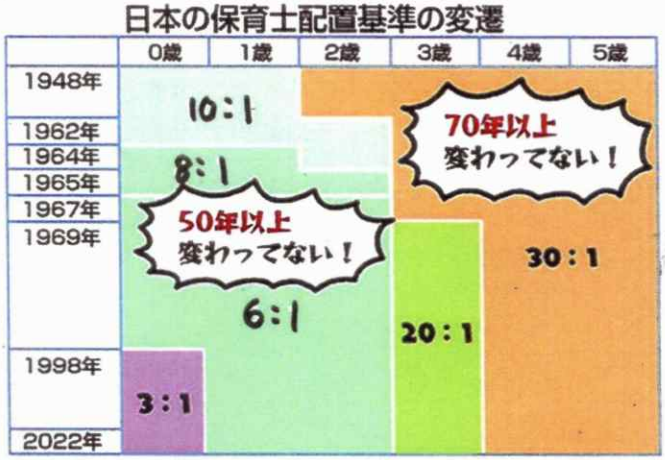
子どもの安全守れる人数に
早急な保育士配置基準の改善を

現在の国の保育士配置基準が定められたのは1・2歳児が56年前、4・5歳児がなんと75年前などとなっています。3・4・5歳児では、経済協力開発機構（OECD）の調査国最低の水準となっています。

保育の長時間化も進み仕事量も増えています。さらに「子ども・子育て支援新制度」が始まり、2015年以降、保育施設等全体で重篤な事故が増加。2021年の教育・保育施設等における死亡・重篤な負傷等の件数は、死亡5件を含む234件で、2015年に比べて1.7倍20件も増加しています。

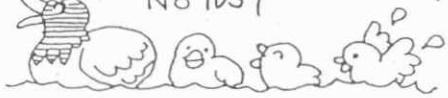
現場の保育士さんからは、「0歳児の5分ごとの午睡チェック、ミルク・離乳食の対応、子どもたちが寝ていても休めない」「地震や火災などの時に安全に避難させられないことが常に不安」などの切実な声が寄せられています。

国の低い配置基準をカバーするために様々な加配を自治体で努力し配置していますが、財政的にも厳しくなっています。専門性を持った資格のある保育士の配置を増やして、安全で一人ひとりの発達を保障する保育をと運動を広げて実現をめざします。



子どもたちにもう1人保育士を！実行委員会「子どもたちにもう1人保育士を！」（2022）に基づき本村伸子事務所作成

わるがも日記
No 1059



立春も過ぎ、梅の花もほころびはじめて、春の訪れを感じる大好きな季節です。でも2月に入ってまたぞろ次々と値上げが行われ、思わずレシートを見返す日々です。

先日何ったお店で「電気代が高くてたまらんき、何枚も重ね着してお陽様追いかけて座りよったら、右とひざが痛うなってねぇ」とのお話。灯油より電気代が高くなるき商売をどうしようかと思いゆうというお店も。庶民のくらしには何の支援もしない岸田政権に「オニは外」の声を届けるゾネ

岸田内閣が勝手に決めた
大軍拡・大増税に待った!!

日本共産党高知県女性後援会のつどいが開かれました。各々の地域ごとでの楽しい演し物に大いに盛りあがりました。